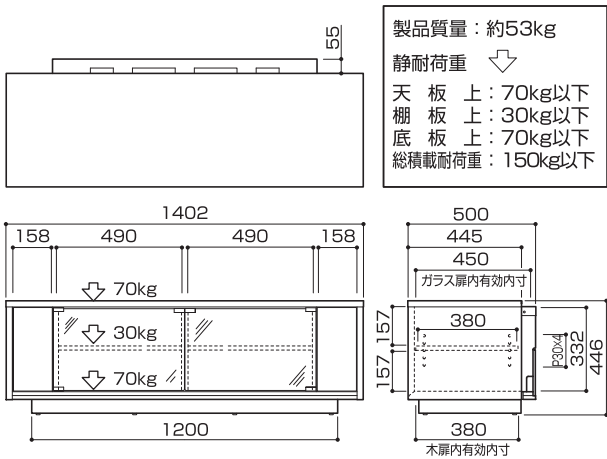


寸法図

※単位はミリメートル



製品質量：約53kg
 静耐荷重
 天板上：70kg以下
 棚板上：30kg以下
 底板上：70kg以下
 総積載耐荷重：150kg以下

部品表

品名	数量	品名	数量
天板	1	裏板④	2
底板	1	裏板⑤	1
仕切板(左)	1	配線カバー	1
仕切板(右)	1	木扉(左)	1
仕切板(中央)	1	木扉(右)	1
側板(左)	1	棚板	2
側板(右)	1	ガラス扉	2

袋詰部品表

品名	数量	
組立ネジ⑥	5	
組立ネジ⑦	3	
裏板用ネジ	7	
マグネットキャッチ用ネジ	6	
マグネットキャッチ⑧	1	
マグネットキャッチ⑨	2	
棚受ダボ	8	
ガラスヒンジ⑩	2	
ガラスヒンジ⑪	2	
マグネット受け	2	
マグネット受けゴム	2	
三角ドライバー	1	

転倒防止ロープ	1セット
---------	------

組み立てを始める前に

- 裏面の安全上のご注意を必ずお読みください。
- 組み立て作業をする場所は、カーペットの上や、毛布などを敷いて床や製品を傷つけないように注意してください。
- 組み立てる前に必ず、部品表、袋詰部品表と完成図を確認してください。

マークの見方



必ず守って組み立ててください。

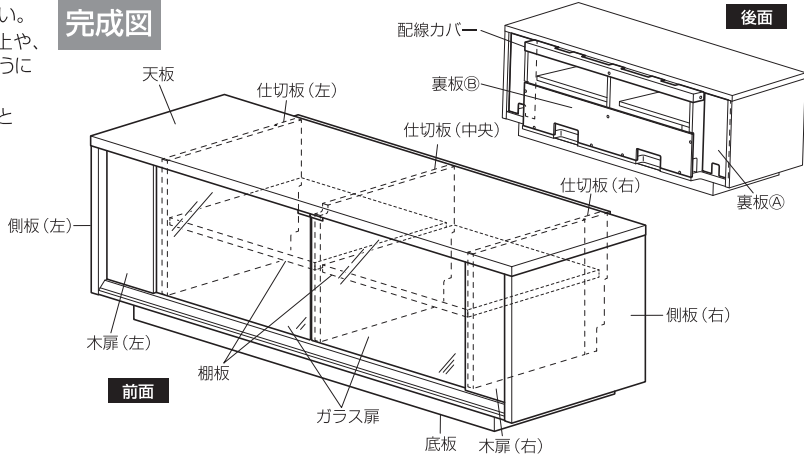


特に注意して、組み立ててください。

※イラストは見やすくするために誇張、省略、補助線の追加をしており、実物とは多少異なります。

※組み立てには、プラスドライバー(中型)をご用意ください。
 ※電動工具での組み立ては、部品損傷のおそれがあるため、使用しないでください。

完成図



1 底板に仕切板の取付

仕切板の木ダボに底板の穴を合わせて差し込み、組立ネジ⑥で締め付けます。
 ※仕切板(左)(右)の溝を外側に向けて取り付けてください。



過剰に強い力で締め付けると空回りし固定できなくなります。ご注意ください。



溝を外側に向けて取り付けます。

2 側板と裏板④の取付



側板裏2か所に埋め込まれた連結部分が開の状態であることを確認してください。
 ※閉の状態であった場合は固定ネジを左に回し、ツメを開の状態にします。



- ①底板の連結ピンを側板の連結部分にはめ込み、付属の三角ドライバーで固定ネジを締め付けます。
- ②裏板④を側板と仕切板の溝に差し込みます。



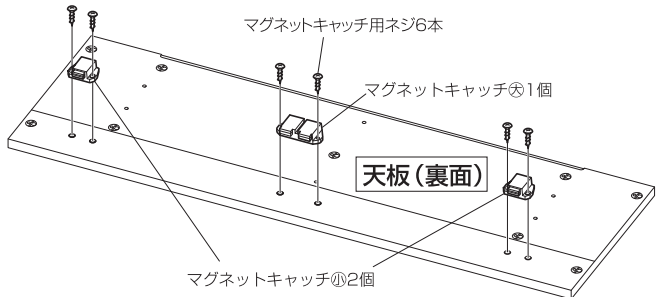
天板が上にくるよう、本体を置き直します。

3 天板にマグネットキャッチの取付

天板(裏面)にマグネットキャッチ⑧⑨をマグネットキャッチ用ネジで取り付けます。
 ※マグネットキャッチの取付穴があります。



過剰に強い力で締め付けると空回りし固定できなくなります。ご注意ください。



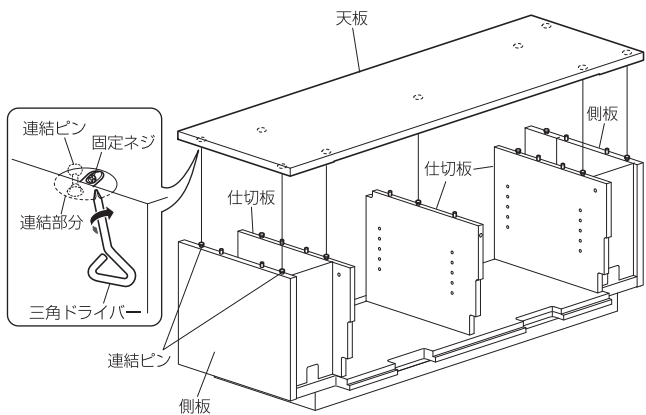
4 天板の取付



天板裏9か所に埋め込まれた連結部分が開の状態であることを確認してください。
 ※閉の状態であった場合は固定ネジを左に回し、ツメを開の状態にします。



側板と仕切板の連結ピンを天板の連結部分にはめ込み、付属の三角ドライバーで固定ネジを締め付けます。

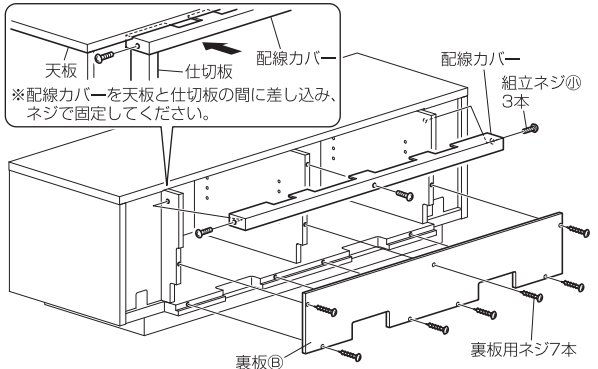


5 裏板⑤と配線カバーの取付

- ①裏板⑤を裏板用ネジで取り付けます。
 - ②配線カバーを組立ネジ⑦で取り付けます。
- ※別売のテレビ転倒防止スタンドを取り付ける場合は、配線カバーを取り付ける前に組み立ててください。



過剰に強い力で締め付けると空回りし固定できなくなります。ご注意ください。

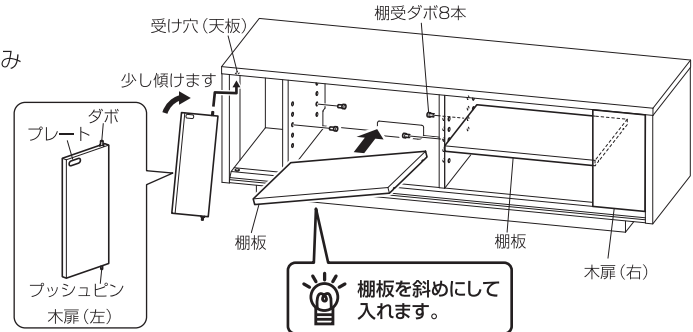


6 木扉と棚板の取付

- ①木扉を少し傾け、天板の受け穴にダボを差し込み、プッシュピンを押しながら取り付けます。
 ※必ず、木扉のプレートを外側、プッシュピンを下側にして取り付けてください。
- ②仕切板の任意の位置に棚受ダボを差し込み、棚板を取り付けます。



棚受ダボは棚板1枚につき、必ず4個使用してください。



7 ガラス扉の取付

ガラス扉(左側)の場合

- ①ガラスヒンジ⑩の凸部を底板の受け穴に差し込みます。
- ②ガラスヒンジ⑪をガラス扉の右上に、組込ネジが手前になるように締め付けます。



ネジを強く締めすぎるとガラスが割れるおそれがあります。

- ③扉上部に取り付けたガラスヒンジ⑪の凸部を天板の受け穴に差し込みます。
- ④ガラス下部をガラスヒンジ⑩に差し込み、組込ネジを締め付けます。

ガラス扉の調節の仕方

ガラス扉取付け後のズレは、各ガラスヒンジの組込ネジを1か所づつゆるめ、ガラス扉を適度な位置に動かして組込ネジを締め付けてください。



上下のガラスヒンジのネジを同時にゆるめるとガラスが外れ、危険です。

